

## 執行役からのメッセージ

当社グループは、国連グローバル・コンパクト署名企業として社会的責任の遂行を重視した事業活動を展開しています。具体的には、環境方針を設定し、カーボンニュートラルの宣言、再生可能エネルギー100%導入、廃棄物ゼロエミッションに取り組み、地球環境との調和をめざした環境保全活動を推進しています。

SDGsへの取り組みは日常のことであり、企業の対応は今後ますます注目され、重要度を増していくことが予想されます。持続可能な社会形成に向けて、引き続き全社一丸となって環境保全に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。



執行役  
総務・環境安全担当  
宮島 正行

### (1) 気候変動への取り組み

#### ① 温室効果ガス排出削減

温室効果ガス排出にともなう気候変動問題は人類共通かつ喫緊の課題です。これまでに世界120カ国以上が2050年までにカーボンニュートラル\*1の実現をめざすことを宣言し、日本政府も2020年10月に同様の宣言を行いました。企業によるカーボンニュートラルへの取り組みも加速しています。

当社グループは、これまで科学的根拠に基づく中長期的な温室効果ガス排出削減目標として、「2016年度を基準に2030年度までにCO<sub>2</sub>排出量を30%削減する」という目標\*2を設定し、全社一丸となってCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んできました。そして、さらに取り組みを加速させるため、2021年5月に「2040年カーボンニュートラル宣言」を行い、新たな目標を掲げました。

## 2040年カーボンニュートラル宣言

- 中期目標：2030年 再生可能エネルギー使用率100%達成  
当社グループの総エネルギー使用量の65.3%(2019年度)を占める電力について、使用量のすべてを再生可能エネルギーに切り替えます。
- 長期目標：2040年 カーボンニュートラル達成  
グループ全社のCO<sub>2</sub>の排出量と吸収量をプラスマイナスゼロの状態にします。

また、カーボンニュートラル達成に向けた2040年までの施策と計画を定めたロードマップを作成しており、進捗や外部環境の変化に合わせて毎年見直すことにしています。省エネルギーの継続に加え、再生可能エネルギー導入の拡大、営業用車両のハイブリッド車・電気自動車への切り替え、先端技術の積極的な導入等を進めていきます。また、取引先との協働により、サプライチェーンにおける温室効果ガス排出削減も強化していきます。

\*1 温室効果ガスの排出量と吸収量をプラスマイナスゼロの状態にすること

\*2 国際的なイニシアチブScience Based Targets initiative (SBTi)から科学的根拠に基づく削減目標として承認を取得しています。